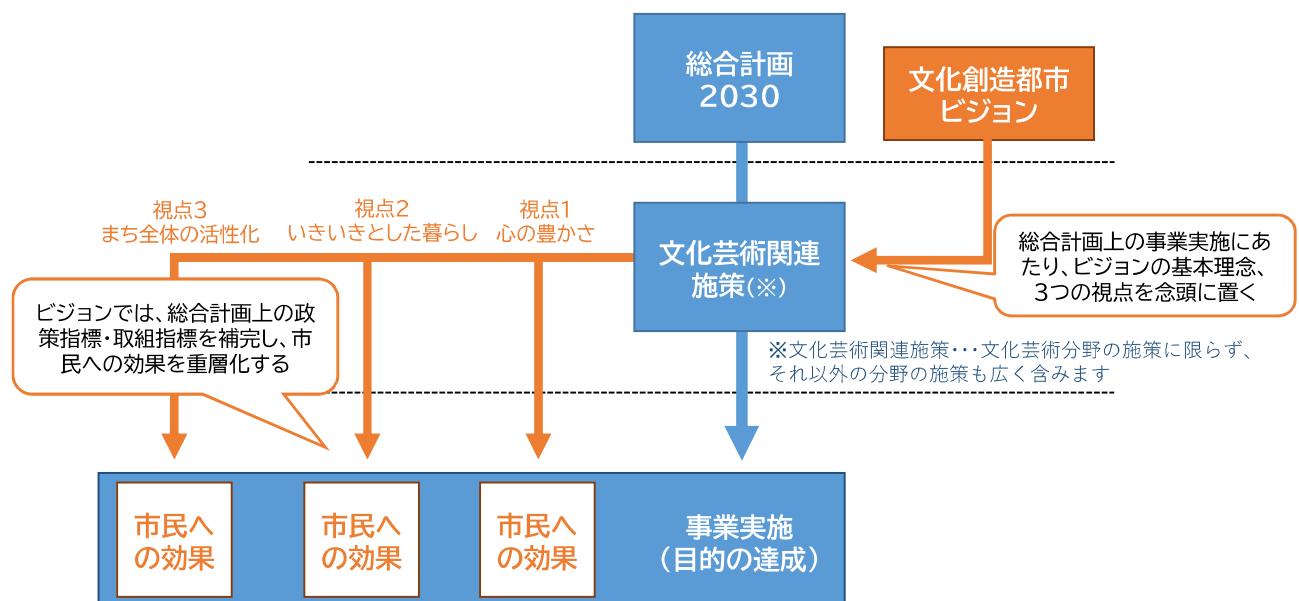


「新潟市文化創造都市ビジョン」

総合評価について(案)

総合評価について

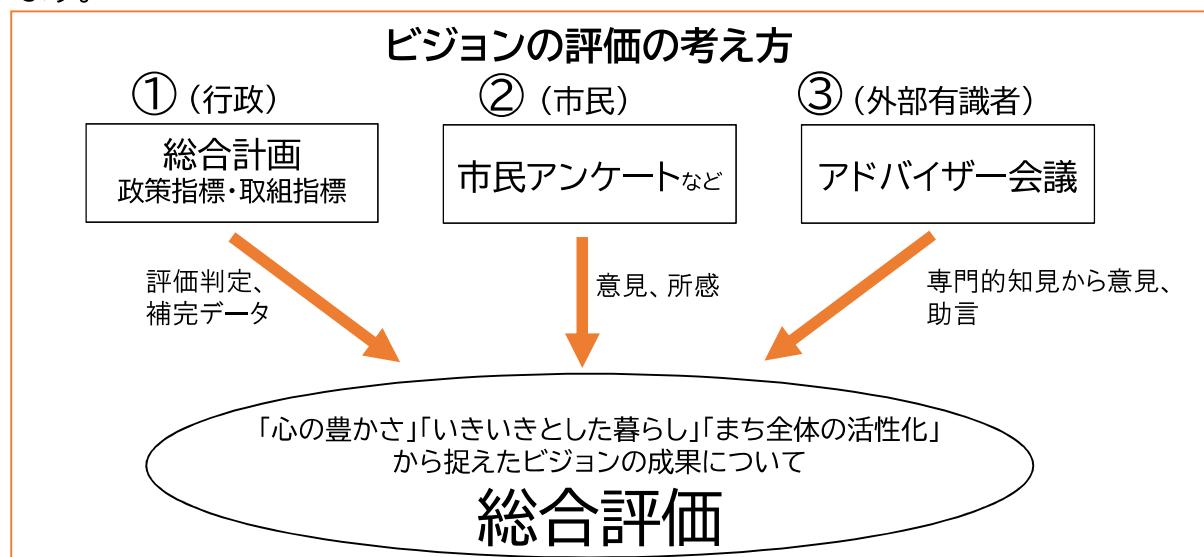
- 「新潟市文化創造都市ビジョン」は、新潟市の文化芸術関連施策における基本理念と施策推進上の3つの視点を明らかにし、これらを効果的・効率的に推進するための指針となるものです。
- 総合計画上の文化芸術関連施策を進めるにあたって、3つの視点を念頭に置くことで、市民への効果を重層化し、ビジョンで掲げる将来像の実現にもつながります。
- 本ビジョンの総合評価は、総合計画の進行管理と照らし合わせながら行うことで、行政の施策展開と市民の受け取り方(市民への効果)がうまく整合しているかを確認するものであり、政策・施策の精度向上が期待されます。



- ① 総合計画上の政策指標は、広く市民全体を対象とした調査(対象:市内在住、満18歳以上の男女4,000名)によって、毎年1回測定します。取組指標は各所管課にて数値をとりまとめます。
- ② 上記調査とは別に、本ビジョンに紐づく事業ごとにアンケート調査を行い、参加者への効果を測定します。
- ③ 外部有識者から成るアドバイザービジョンは、令和9年度の中間評価、令和13年度の最終評価にあたって開催し、他都市での取り組み例や社会全般の潮流といった視点から専門的な意見、助言を行います。

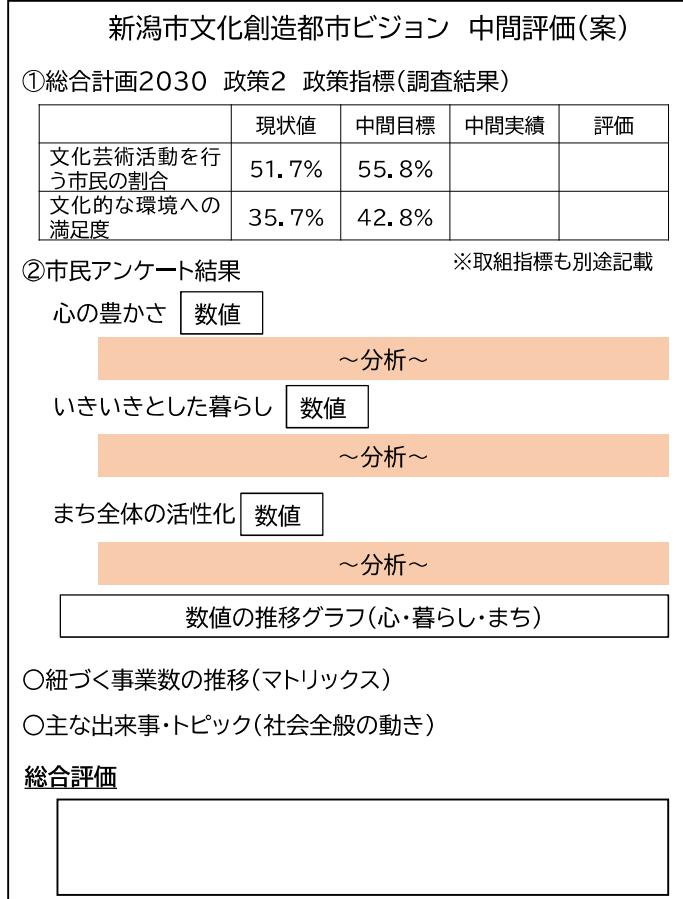
⇒毎年度、文化創造推進本部内で各測定結果などについて共有するほか、外部有識者から意見等をいただく機会も随時設定します。

⇒ ①・②・③を踏まえて令和9年度、13年度に総合評価を行い、関連施策が的確に実施され、期待された市民への効果につながっているかを確認します。その状況に基づいて新たな施策の立案、既存事業の見直しなどを行います。



2

- 右の図は、令和9年度に行う中間評価のイメージです。
- 対象となるのは、令和6年度～8年度の紐づけ事業です。
- 事務局(文化政策課)にて、取りまとめた
 - ①総合計画2030 政策2 政策指標(調査結果)
 - ②市民アンケート結果 ほか
 に対して、③アドバイザービジョンより意見等をいただき、それらを踏まえて、市として総合評価を取りまとめます。



<参考>市民アンケートについて(3つの視点から期待される市民への効果の測定)

- 市民への効果を測定するアンケート調査は、令和6年度実施の事業から開始し、事業の分析や改善等に活かします。
※事業ごとに実施している既存のアンケートに、ビジョン固有の質問項目を追加
- アンケート調査は、紐づく事業のうち市民を対象とした市事業を中心に行います(広く市民に開かれていらない事業は除く)。
- このほか、市民が催事等の運営をしている場合などは、運営側・出演者側へのアンケート実施に努めます。

	R6 2024	R7 2025	R8 2026	R9 2027	R10 2028	R11 2029	R12 2030	R13 2031
市民への効果測定	アンケート調査開始			中間評価 ⇒中間見直し(予定)				最終評価

事業の分析や改善等

事業の分析や改善等

4

【心の豊かさ】

文化芸術によって
市民の感動や発見が
引き出されている

市民一人ひとりが、

- 文化芸術の「受け手」であり、「つくり手」「担い手」でもあることを意識することで、自らの感性をより豊かに伸ばし、自分らしく表現している。
- 文化芸術への興味関心を高め、主体的・能動的な関わりを深めている。

<◆期待される市民への効果>

◆市民の感受性や創造力、表現力が高まる

<文化芸術関連施策>

- 質の高い文化芸術を地元にいながら鑑賞できるよう拠点施設での展示・公演等を継続するとともに、文化施設などに足を運ぶ機会の少ない方々のためにアウトリーチを充実させ、気軽に文化芸術に親しむ機会を提供します。
- 市民の主体的な文化芸術活動をより活発なものとしていくため、新潟市民芸術文化会館・音楽文化会館をはじめ市内の文化会館・施設、社会教育施設などの体験・創作・発表の場を充実させます。

文化芸術(作品)
への関わり度



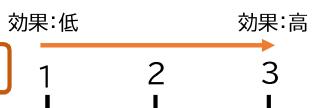
- 文化芸術は身近なものではなく、普段も特に関わっていない
- 文化芸術には主に鑑賞する側として関わっている
- 事前に内容や技術、背景について調べる、理解を深めるなど、文化芸術への関わりを深めていたらもっと楽しめたと思う
- 文化芸術は鑑賞する側と表現する側に分かれるものと思っていたが、両者で一緒に作品を創り上げるものだと実感した
- 普段の生活中においても文化芸術に親しみ、自分しさを表現できると思う

◆市民の活動の可能性や視野が広がる

<文化芸術関連施策>

- 新潟市芸術文化振興財団をはじめとする関係団体・施設のネットワーク強化と情報発信によって、市民が気軽に相談でき、思い通りの活動につながる環境に近づいていきます。

中間支援組織
との関わり度



- 自分たちの活動に対して、外部から助言などをしてもらったことはない
- 気軽に話(相談など)ができる支援団体や施設を見つけた
- 日頃から関係団体や施設と連携できる関係を築けている

【いきいきとした暮らし】
文化芸術によって人と人
とがつながり、地域の豊
かさが高まっている

市民一人ひとりが、

- ・ 多様な価値観に触れ、他者と相互に感性や表現を交わすことで、自身の役割を見つけ、地域コミュニティやネットワークに積極的に参画している。
- ・ 地域に根ざした文化や文化財等との各々の結びつきに気づき、学びを得ることで、地域の風景や風土、歴史を共有し、将来世代に引き継いでいる。

<◆期待される市民への効果>

◆地域でつながる、愛好するものがつながる

<文化芸術関連施策>

- 人々が共に生きる絆を形成できるよう、地域の祭りや身近な施設などで、さまざまな背景を持つ市民が集い、交流する機会を充実させます。

他者とのつながり度



- 1 誰とも交流しなかった
- 2 知り合いやスタッフなどとは交流した
- 3 知り合いでなく様々な人と交流した
(自分の考えなどを表現し、また相手の表現も受け取った)
- 4 自分が必要とされる居場所や共感できる仲間を見つけた
- 5 交流の輪を広げていきたいと思った
(活動に積極的に参画したいと思った)

◆先人の築いた歴史的資産が次世代へと引き継がれる

<文化芸術関連施策>

- 地域に根差し、脈々と受け継がれてきた文化財や歴史的建造物、民俗芸能などは、本市の歴史・文化の特性を物語るもので、これらの本質的価値を明らかにするため、多様な主体と連携・協働により調査研究を行います。
- その価値を市民が認識し、理解を深め、共有することを通して気づきや学びを誘発する機会を創出するとともに、担い手育成の支援などを通して文化財等の保存・継承を進めます。

過去・未来とのつながり度



- 1 過去は過去であり、大事なのは現在だ
- 2 過去があつてこそ現在であるため、過去を知り、触れる機会があることは大事だ
- 3 自分との歴史的・地域的なつながりに気づいた
- 4 過去から引き継いだものを未来につないでいく必要があると思う
- 5 自分も地域の一員として、保存・継承活動に携わっていきたい

6

【まち全体の活性化】

文化芸術によって市民が
触発され、創造された新た
な価値が、まち全体を
活性化している

市民一人ひとりが、

- ・ 新潟の特色ある文化に加え、個々の主体的な文化芸術活動をまちの魅力として誇りに思っている。
- ・ 文化芸術を自在に活用し、活動や交流の幅を広げながら新たな価値を生み出している。

<◆期待される市民への効果>

◆市民が新潟らしさを文化に見つけ、誇りに思う

<文化芸術関連施策>

- 豊かな田園の実りと湊まちの気風が長い時間をかけて育んだ「みなとまち文化」や「踊り文化」、多くの作家を輩出してきた「マンガ・アニメ文化」、鉄道路線の結節点で発展した「鉄道文化」。日々発展を続ける特色ある文化・歴史的資産に加え、市民が共感できる地域資源の魅力を発信していきます。

誇り・愛着度



- 1 他都市の文化との違いが分からない
- 2 新潟らしさを見つけた
- 3 新潟の文化ではあるが、優れたものとは思わない
- 4 新潟の文化を大切にしたい(誇りに思う)
- 5 誇りに思う新潟の文化を広めていきたい

◆文化芸術が様々な場面で活用され、市民が日常的に文化芸術に親しんでいる

<文化芸術関連施策>

- 文化芸術の創造性を活かし、多様な主体との連携によって、福祉や産業、観光をはじめとする他分野における活用や課題解決に役立てるなど、文化芸術の効用を広げていきます。

市民への文化芸術の
価値の伝わり度



- 1 文化芸術の要素がどこにあったのか気がつかなかった
- 2 文化芸術そのものの良さが伝わってきた
- 3 文化芸術には、文化芸術そのものの良さだけではなく、様々な効果があると気づいた(人と人のつながりを形成したり、経済的な効果など)
- 4 文化芸術の持つ様々な効果を周りの人にも伝えたい
- 5 文化芸術の持つ様々な効果は、日々の生活や仕事などにおいても役立てていきたい